

第13号

発行日
2020. 11. 20

Super Highway

JR東労組バス関東本部



JR東労組ホームページ

要求に対する会社の認識について議論しました！

会社回答について

(組合) 要求の2.5ヶ月に対して満額回答ではない理由は何か。

(会社) 決算状況だけを前年と比較し考えると、業績連動を見ればゼロ回答になってしまうが、貴側と向き合って議論してきた。生活ということを重視してきた。雇用を守っても生活が成り立たない限り、根本を補えない。最低限、家族を養えるということを置いて、会社の体力と合わせて検討してきた。

(組合) 業績連動から見ればゼロからスタートとあったが、雇用を守っても生活ができないということも反映されているのか。

(会社) ローンを抱えている人が家を手放すことや二重債務をするようなことは会社として避けたい。不安を抱えて業務するのは良くないと考える。

(組合) 正社員と契約社員Aの月数の差が縮まった理由は何か。

(会社) 今回の期末手当は経営体力と生活という視点を大きな柱として考えた。正社員の下げ幅としてしまうと生活ができなくなってしまうと考えた。

期末手当に生活の要素を含む必要性について認識一致！

新型コロナウイルス感染症対応に対する特別手当について

(組合) 何故、特別手当はゼロ回答となったのか。

(会社) 具体的な内訳を答えることはできないが、申し入れの内容は支給額1.8ヶ月分の中に含まれていると理解してもらいたい。コロナ禍での社員の献身的な対応に応えた。社員への期待値も含まれている。

組合員・社員への期待について

(組合) 組合員は1.8ヶ月プラス働きがいというものを会社に期待している。黒字経営を目指すためには会社と共に成長していきたいと考えている。会社がやろうとしている今後の計画などはわかりやすく説明してほしい。社員の声も吸い上げてもらいたい。

(会社) 協力してやっていくには社員が納得感をもって働くことが必要だ。管理者から社員にきちんと説明して理解してもらい協力いただきたい。できる限り前広に社員に周知していく考えである。

以上の議論を持ち帰り緊急代表者会議の議論も経て妥結しました。

組合員の雇用・生活を守るため職場から議論をつくり出そう！